

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	146千円	224千円	222千円	0千円
	総人件費	1,857千円	1,832千円	1,232千円	
	総事業コスト	2,003千円	2,056千円	1,454千円	

部等名	課等名	係等名
教育局	文化財課	活用係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	03	11	文化財保護審議会に要する経費

事務事業名		01 文化財保護審議会事業		指標名	会議の実施回数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	上下半期の各1回、会議を開催する。				
戦略プラン		- - - -		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度							
実績		- - - -		2回	2回	2回	2回	2回	2回	2回								
総合戦略		- - - -		実績	2回	2回	3回					その他の指標	-					
個別計画		-		H28年度				H29年度										
根拠法令等		文化財保護法 つくば市文化財保護審議会条例		改善目標	年3回の会議開催。				改善目標	-								
事業分類		B 任意的事業(小規模)		事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>現任期(平成26年7月1日～同28年6月30日)終了に伴う、新委員の選任をする。</li> <li>上半期は7月に会議を開催し、前年度事業報告と本年度事業計画説明を行う。</li> <li>下半期は12月に会議を開催し、毎年実施する小田城跡発掘調査視察及び年度途中報告を行う。</li> <li>必要に応じて会議を開催し、諮問答申や各種文化財保護について議論する。</li> </ul>				事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>上半期は7月か8月の夏期に会議を開催し、前年度事業報告と本年度事業計画説明を行う。</li> <li>下半期は12月か1月の冬期に会議を開催し、毎年実施する小田城跡発掘調査視察及び年度途中報告を行う。</li> <li>必要に応じて会議を開催し、諮問答申や各種文化財保護について議論する。</li> </ul>								
執行体制		職員のみ		活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1回会議を5月10日(火)に開催し、開園した小田城跡歴史ひろばを視察し、活用について討議した。</li> <li>任期終了に伴い新任期(平成28年7月1日～同30年6月30日)の新委員(留任7名、新任3名)を任命した。</li> <li>第2回会議を8月2日(火)に開催し、平成27年度事業の報告、28年度事業計画の説明をし、悉皆調査、小田城跡の活用等について意見を得た。</li> <li>第3回会議を12月13日(火)に開催し、事業の中間報告をし、バスツアー等の活用事業やボランティアについて議論した。また、小田城跡発掘調査を視察した。</li> </ul>				上半期活動実績	-								
事業の目的		教育委員会の諮問に応じ、文化財の保存及び活用に関する重要な事項について調査し、教育委員会に建議するため。		成果	開園した小田城跡歴史ひろばの管理・活用や、筑波山神社神橋等の指定文化財の修理、巨樹等の自然文化財調査その他について、専門家からの貴重な意見を得ることができた。				上半期成果	-								
事業の概要		任期2年の委員10名による会議を、年2、3回開催し、各種文化財の現地調査も実施する。 文化財保護行政において、広範な知識を持つ外部有識者により、適切で公平な判断を行う。		課題	-				課題	-								
ISO 14001		H28環境関連性		事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H30年度当初積算根拠	-					
H29環境関連性		-		有効性	高:成果が向上(高水準を維持)している				有効性	-								
-		-		効率性	高:費用対効果が向上(高水準を維持)している				効率性	-								
総合評価		S:成果・費用対効果を維持して継続実施		総合評価	S:成果・費用対効果を維持して継続実施				総合評価	-			H30年度の方向性	-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	7,203千円	6,979千円	6,810千円	0千円
	総人件費	8,335千円	8,258千円	7,389千円	
	総事業コスト	15,538千円	15,237千円	14,199千円	

部等名	課等名	係等名
教育局	文化財課	保存係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	03	12	文化財調査に要する経費

事務事業名	01	文化財調査事業	指標名	調査件数	指標種別	活動結果指標	指標の概要	1 埋蔵文化財調査は発生状況に左右されるため、指標を設定できない。 2 悉皆調査数は27～29年度の現地調査数としたが、27年度は追加調査が多く想定50件の2倍となったので、現地調査期間を1年延期し28～30年度は1.5倍とする。						
戦略プラン	3	12	文化財保護の推進	目標値	H26年度	H27年度			H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	
				実績	-	50件			75件	75件	75件	未定	未定	
総合戦略	-	-	-	-	H28年度				H29年度				その他の指標	-
	-	-	-	-	改善目標	-	改善目標	・市ホームページ・広報紙等で周知に努める。 ・課員が1名減になったので、効率的な調査を心がける。						
個別計画	-	-	-	-	事業計画	1 埋蔵文化財調査は発生状況に左右されるが、月1件計12件実施と想定し実施して、開発等の円滑な推進を図る。 2 悉皆調査件は現地調査の2年目で、桜・豊里地区を対象に75件を行い、その過程で新規対象が生じた場合は適宜追加調査する。 3 必要に応じて各種文化財調査を行う。				1 埋蔵文化財調査は発生状況に左右されるが、月1件計12件実施と想定し実施して、開発等の円滑な推進を図る。 2 悉皆調査は現地調査の3年目で、大穂地区及び筑波地区の一部を対象に75件を目標とし、4月に区会へ実施通知を回覧して5・6月に現地調査を行う。その過程で新規対象が生じた場合は適宜追加調査する。 3 必要に応じて各種文化財調査を行う。				
根拠法令等	文化財保護法					事業計画	1 埋蔵文化財調査は、の試掘・確認調査が35件、の本発掘調査が1件の計36件だった。 2 悉皆調査は豊里・桜地区を対象とし、4月に区会へ実施通知を回覧して5月～3月まで調査を行った。追加対象が増えたため81件となった。 3 3月に筑波山神社の建造物の状況調査を行った。				1 埋蔵文化財調査は、の試掘・確認調査が35件、の本発掘調査が1件の計36件だった。 2 悉皆調査は豊里・桜地区を対象とし、4月に区会へ実施通知を回覧して5月～3月まで調査を行った。追加対象が増えたため81件となった。 3 3月に筑波山神社の建造物の状況調査を行った。			
事業分類	C 義務的事業				活動実績		1 埋蔵文化財調査は、の試掘・確認調査が35件、の本発掘調査が1件の計36件だった。 2 悉皆調査は豊里・桜地区を対象とし、4月に区会へ実施通知を回覧して5月～3月まで調査を行った。追加対象が増えたため81件となった。 3 3月に筑波山神社の建造物の状況調査を行った。				1 埋蔵文化財調査は、の試掘・確認調査が35件、の本発掘調査が1件の計36件だった。 2 悉皆調査は豊里・桜地区を対象とし、4月に区会へ実施通知を回覧して5月～3月まで調査を行った。追加対象が増えたため81件となった。 3 3月に筑波山神社の建造物の状況調査を行った。			
執行体制	一部委託					成果	1 埋蔵文化財調査は、の試掘・確認調査が35件、の本発掘調査が1件の計36件だった。 2 悉皆調査は豊里・桜地区を対象とし、4月に区会へ実施通知を回覧して5月～3月まで調査を行った。追加対象が増えたため81件となった。 3 3月に筑波山神社の建造物の状況調査を行った。				1 埋蔵文化財調査は、の試掘・確認調査が35件、の本発掘調査が1件の計36件だった。 2 悉皆調査は豊里・桜地区を対象とし、4月に区会へ実施通知を回覧して5月～3月まで調査を行った。追加対象が増えたため81件となった。 3 3月に筑波山神社の建造物の状況調査を行った。			
事業の目的	市内に所在する無指定を含む各種文化財の基本調査を行い、基礎データを収集し、今後の保存対策の立案・資料蓄積及び「まちづくり」の根幹となる地域独自の文化財の把握をするため。				課題		1 埋蔵文化財調査は、の試掘・確認調査が35件、の本発掘調査が1件の計36件だった。 2 悉皆調査は豊里・桜地区を対象とし、4月に区会へ実施通知を回覧して5月～3月まで調査を行った。追加対象が増えたため81件となった。 3 3月に筑波山神社の建造物の状況調査を行った。				1 埋蔵文化財調査は、の試掘・確認調査が35件、の本発掘調査が1件の計36件だった。 2 悉皆調査は豊里・桜地区を対象とし、4月に区会へ実施通知を回覧して5月～3月まで調査を行った。追加対象が増えたため81件となった。 3 3月に筑波山神社の建造物の状況調査を行った。			
事業の概要	1 埋蔵文化財調査 各種開発等に伴う試掘・確認調査 非営利目的での本発掘調査等 2 悉皆調査 各種文化財について計画的・継続的に所在や概要を把握する基本調査。26年度から5年計画で自然文化財調査1件を行う。 3 その他文化財の調査 その他必要に応じて各種調査を行う。					課題	1 埋蔵文化財調査は、の試掘・確認調査が35件、の本発掘調査が1件の計36件だった。 2 悉皆調査は豊里・桜地区を対象とし、4月に区会へ実施通知を回覧して5月～3月まで調査を行った。追加対象が増えたため81件となった。 3 3月に筑波山神社の建造物の状況調査を行った。				1 埋蔵文化財調査は、の試掘・確認調査が35件、の本発掘調査が1件の計36件だった。 2 悉皆調査は豊里・桜地区を対象とし、4月に区会へ実施通知を回覧して5月～3月まで調査を行った。追加対象が増えたため81件となった。 3 3月に筑波山神社の建造物の状況調査を行った。			
ISO 14001	H28環境関連性	-	-	-	事業の進捗状況		達成	改善目標の進捗状況	-	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	
	H29環境関連性	-	-	-	評価	有効性	高：成果が向上(高水準を維持)している	評価	有効性	-	評価	有効性		
						効率性	高：費用対効果が向上(高水準を維持)している		効率性	-		効率性		
						総合評価	S：成果・費用対効果を維持して継続実施		総合評価	-		総合評価		
事業実施コスト								H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初			
事業費(A)								7,203千円	6,979千円	6,810千円	0千円			
国庫支出金								2,557千円	2,672千円	2,666千円	0千円			
県支出金								0千円	0千円	0千円	0千円			
地方債								0千円	0千円	0千円	0千円			
その他特財								0千円	0千円	0千円	0千円			
一般財源								4,646千円	4,307千円	4,144千円	0千円			
人件費(B)								8,335千円	8,258千円	7,389千円				
正職員								1.05人	1.05人	0.90人				
時間外勤務								200.00時間	213.00時間	300.00時間				
臨時職員等								有	有	有				
事業コスト(A+B)								15,538千円	15,237千円	14,199千円				
H30年度当初積算根拠								-						
H30年度の方向性								-	理由	-				

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	16,125千円	2,988千円	21,143千円	0千円
	総人件費	6,052千円	5,968千円	6,059千円	
	総事業コスト	22,177千円	8,956千円	27,202千円	

部等名	課等名	係等名
教育局	文化財課	活用係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	03	13	文化財維持管理に要する経費

事務事業名		01 市管理文化財維持管理事業		指標名	管理文化財件数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	市が直接に草刈り・修繕等の維持管理をする文化財の件数				
戦略プラン		- - - -		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度							
実績		- - - -			9件	9件	9件	9件	9件	9件	9件							
総合戦略		- - - -		実績	9件	9件	10件					その他の指標	-					
個別計画		-		H28年度				H29年度										
根拠法令等		文化財保護法, 茨城県文化財保護条例, つくば市文化財保護条例		改善目標	-				改善目標	草刈り業務内容の見直しにより抑制を図る。								
事業分類		F 施設等維持管理事業		事業計画	市内に所在する, 国4件・県29件・市83件(1件指定解除)の指定文化財, 6件の国登録文化財及び627ヶ所の周知の遺跡(埋蔵文化財)の適切な維持管理。市有・管理物件の土地賃借, 草刈り。指定文化財等への説明板設置。文化財保護団体への参加。修繕その他必要な業務。				事業計画	市内に所在する, 国4件・県29件・市83件の指定文化財, 6件の国登録文化財及び627ヶ所の周知の遺跡(埋蔵文化財)の適切な維持管理。市有・管理物件の土地賃借・草刈り(年度当初に契約, 通年), 必要な場合の修繕。指定文化財等への説明板設置(上半期)。文化財保護団体への参加。文化財指導員その他必要な業務。								
執行体制		一部委託		活動実績	日向廃寺跡・小田城跡・八幡塚古墳・手子生城跡等の草刈り等を実施した。また, 石造宝篋印塔で地震により部材の落下が生じたため, 修繕した。全国及び県内の保護団体の総会・研修会に参加し, 陳情活動も行った。				上半期活動実績	-								
事業の目的		市内に所在する国・県・市指定や国登録その他の文化財, 周知の遺跡等を次世代に良好な状態で継承することを目的に, 必要に応じた保護と維持管理を行うとともに, 活用のために必要な処理を講ずるため。		成果	指定等文化財の維持管理が適切にできた。				上半期成果	-								
事業の概要		文化庁, 茨城県及び市文化財保護審議会, 文化財保護指導員その他の専門家の指導を仰ぎながら, 対象文化財を適切に維持・管理・整備等を行う。また, 市指定史跡保存のための民有地の賃借や, 史跡整備に関する団体に加盟し情報収集や意見交換を行う。		課題	史跡土地購入に伴い管理する土地が増加しており, 特に草刈り費用の低減が課題である。				課題	-								
ISO 14001		H28 環境関連性		事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	-	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H30年度当初積算根拠	-					
		H29 環境関連性		評価	有効性	中: 適切な成果が得られている		評価	有効性	-								
					効率性	中: 適切な費用対効果が得られている			効率性	-								
					総合評価	B: 成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-		H30年度の方向性	-	理由	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	16,125千円	2,988千円	21,143千円	0千円
	総人件費	6,052千円	5,968千円	6,059千円	
	総事業コスト	22,177千円	8,956千円	27,202千円	

部等名	課等名	係等名
教育局	文化財課	活用係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	03	13	文化財維持管理に要する経費

事務事業名		02 文化財保護指導員事業		指標名	-				指標種別	-				指標の概要		-	
戦略プラン		- - - -		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	-		-		-	
総合戦略		- - - -		実績	-	-	-					-		-		-	
個別計画		-		H28年度				H29年度				その他の指標		-			
事業分類		A 任意的事業		改善目標	-				改善目標	-				事業実施コスト		H27年度決算 H28年度決算 H29年度当初 H30年度当初	
事業の目的		文化財の保護・活用を図るため。		事業計画	市管理文化財維持管理事業(の上欄)と統一させる(市内の文化財に精通する必要があるため市内在住者が望ましいが、自然科学系と異なり人文科学系の歴史・文化財の専門的知識を有する方を見いだすことができないので、適任者を探すことを続けるが、事業展開が難しいため)。				事業計画	-				事業費(A)		0千円 0千円 0千円 0千円	
事業の概要		文化財の調査・資料整備・連絡調整等、文化財の保護・活用に関するを行う。		活動実績	-				上半期活動実績	-				国庫支出金		0千円 0千円 0千円 0千円	
ISO 14001		H28環境関連性		成果	-				上半期成果	-				県支出金		0千円 0千円 0千円 0千円	
ISO 14001		H29環境関連性		課題	-				課題	-				地方債		0千円 0千円 0千円 0千円	
ISO 14001		H28環境関連性		事業の進捗状況	-				事業の進捗状況	-				その他特財		0千円 0千円 0千円 0千円	
ISO 14001		H29環境関連性		改善目標の進捗状況	-				改善目標の進捗状況	-				一般財源		0千円 0千円 0千円 0千円	
ISO 14001		H28環境関連性		有効性	低:成果が低下(低水準を維持)している				有効性	-				人件費(B)		1,115千円 0千円 0千円	
ISO 14001		H29環境関連性		効率性	中:適切な費用対効果が得られている				効率性	-				正職員		従事割合 0.15人 0.00人 0.00人	
ISO 14001		H28環境関連性		総合評価	D:成果を向上させる必要有り				総合評価	-				時間外勤務		0.00時間 0.00時間 0.00時間	
ISO 14001		H29環境関連性		評価		理由		H30年度当初積算根拠		理由		H30年度の方向性		理由		理由	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	16,125千円	2,988千円	21,143千円	0千円
	総人件費	6,052千円	5,968千円	6,059千円	
	総事業コスト	22,177千円	8,956千円	27,202千円	

部等名	課等名	係等名
教育局	文化財課	活用係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	03	13	文化財維持管理に要する経費

事務事業名	03 民有文化財補助事業	指標名	補助件数	指標種別	活動結果指標	指標の概要	指定文化財の維持活動費への補助件数			
戦略プラン	- - - -	目標値	H26年度 6件	H27年度 6件	H28年度 6件	H29年度 6件	H30年度 6件	H31年度 6件	H32年度 6件	
総合戦略	- - - -	実績	4件	6件	4件					
個別計画	-	改善目標	H28年度				H29年度			
根拠法令等	文化財保護法, 茨城県文化財保護条例, つくば市文化財保護条例	事業計画	市指定無形民俗文化財の活動補助。国県市指定・登録文化財のき損等が発生した場合の修理費他の補助。				5月に市指定無形民俗文化財の活動費補助申請を受け付け交付決定し, 3月までに実績報告を得る。国県市指定・登録文化財のき損等が発生した場合の修理費他の補助。筑波山神社神橋の修理費補助(2年計画の1年目)を, 県には6月に申請して交付決定を受け, その後市が補助金申請・交付決定手続きを行い進める。			
事業分類	E 補助金・負担金事業	活動実績	市指定民俗文化財2件に対して補助した。国指定文化財1件の火災報知器管理事業, 市指定文化財1件の管理事業に対して補助した。また, 大規模修繕が必要な県指定文化財筑波山神社神橋について, 来年度実施に向けた調整をした。				上半期活動実績			
執行体制	職員のみ	成果	民有文化財の適切な保存・維持管理ができるよう, 支援ができた。				上半期成果			
事業の目的	市内に所在する国・県・市指定や国登録文化財を次世代に良好な状態で継承するための各種経費のうち, 必要に応じた経費を補助することで, 当該文化財を保護するため。	課題								
事業の概要	指定・登録文化財の管理・修理について, 所定の手続を行いながら, その経費の一部を予算の範囲内で補助する。	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	-	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	
ISO 14001	H28 環境関連性 - H29 環境関連性 -	評価	有効性	中: 適切な成果が得られている		有効性	-			
			効率性	中: 適切な費用対効果が得られている		効率性	-			
			総合評価	B: 成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価	-			
						事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
						事業費(A)	1,259千円	333千円	14,262千円	0千円
						国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
						県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
						地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
						その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
						一般財源	1,259千円	333千円	14,262千円	0千円
						人件費(B)	1,911千円	1,885千円	1,864千円	
						正職員	従事割合	0.25人	0.25人	0.20人
						内訳	時間外勤務	20.00時間	20.00時間	150.00時間
						臨時職員等		無	無	無
						事業コスト(A+B)	3,170千円	2,218千円	16,126千円	
						H30年度当初積算根拠	-			
						H30年度の方向性	-	理由	-	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	16,125千円	2,988千円	21,143千円	0千円
	総人件費	6,052千円	5,968千円	6,059千円	
	総事業コスト	22,177千円	8,956千円	27,202千円	

部等名	課等名	係等名
教育局	文化財課	保存係・活用係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	03	13	文化財維持管理に要する経費

事務事業名	04 文化財保護計画策定事業	指標名	素案作成・計画策定				指標種別	成果指標	指標の概要	-	
戦略プラン	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	-	
総合戦略	-	実績			-					-	
個別計画	-	改善目標	H28年度				H29年度				
根拠法令等	-	事業計画	文化財課が事務局となり、他市町村の事例を調査し、参考としながら事務局案を作成する。策定委員を選任し、指導を得ながら素案を作成する。				進行は市全体の計画策定基準検討の状況により、必要に応じて業務の一部延期も検討する。7月までに文化財課が方針・素描を作成し、夏期の文化財保護審議会に示して意見をもらう。計画策定基準の検討状況に応じて策定委員を選任し、秋・冬季に指導を得ながら文化財課が素案を作成する。素案をコンサルに委託して計画案としてまとめる。				
事業分類	A 任意的事業	活動実績	県内の事例や県外で最近の事例について調査した。策定委員会の発足及び素案の作成は、市内部で計画策定の基準を定めることとなったこと、市長公約である廃校の資料館等での利用の扱いを検討する必要が生じたことから、来年度に延期することとした。				上半期活動実績				
執行体制	一部委託	成果	計画案の参考となる事例が把握できた。				上半期成果				
事業の目的	市内に数多く所在する各種文化財全体を有効に保存・活用してため、文化財保護の施策を体系的に位置付けて今後の方針を定めた、文化財保護基本計画を策定する。	課題					課題				
事業の概要	有識者により新たに組織する策定委員会や、関係部署の意見を取り入れながらまとめる。計画案はパブリックコメントを実施し意見を求めて修正を検討、文化財保護審議会の答申を得た後、教育委員会の議決を経る。	事業の進捗状況	未達成	改善目標の進捗状況	-	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-		
ISO 14001	H28 環境関連性	有効性	低：成果が低下(低水準を維持)している				有効性	-			
	H29 環境関連性	効率性	中：適切な費用対効果が得られている				効率性	-			
		総合評価	D：成果を向上させる必要有り				総合評価	-			
		事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初					
		事業費(A)	0千円	0千円	3,450千円	0千円					
		国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円					
		県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円					
		地方債	0千円	0千円	0千円	0千円					
		その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円					
		一般財源	0千円	0千円	3,450千円	0千円					
		人件費(B)	0千円	1,099千円	1,599千円						
		正職員	0.00人	0.15人	0.20人						
		従事割合	0.00時間	0.00時間	50.00時間						
		時間外勤務	-	無	無						
		臨時職員等	-	無	無						
		事業コスト(A+B)	0千円	1,099千円	5,049千円						
		H30年度当初積算根拠									
		H30年度の方向性	-	理由	-						

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	3,437千円	3,252千円	3,708千円	0千円
	総人件費	1,911千円	1,885千円	1,572千円	
	総事業コスト	5,348千円	5,137千円	5,280千円	

部等名	課等名	係等名
教育局	文化財課	活用係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	03	14	市史編纂に要する経費

事務事業名	01 市史編纂事業	指標名	図書の刊行				指標種別	活動結果指標			指標の概要	整理・解読の終了した史・資料について、冊子として刊行する。	
戦略プラン	- - - -	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度				
総合戦略	- - - -	実績	1冊	1冊	1冊					その他の指標	-		
個別計画	-	H28年度				H29年度							
根拠法令等	-	改善目標	史料集等は販売しており、その売上高を前年度比で5%上昇させる。				改善目標	史料集等の販売売上高を前年度比で5%上昇させる。					
事業分類	A 任意的事業	事業計画	1 県内でも古文書読解の第一人者により、古文書を読解する。 2 年度末に史料集を1冊刊行する。 3 未発見史・資料の調査し記録する。 4 市関連史・資料を入手する。				事業計画	1 保有史・資料の整理及び解読作業。 2 史・資料集を、年内に編集作業を行い、印刷製本契約後、年度末に刊行。 3 未発見史・資料の調査及び記録。 4 市関連史・資料の入手。					
執行体制	職員のみ	活動実績	1 古文書の読解 2 市史史料集 第十三編 仙台藩領(上) 刊行 3 新史料の調査 4 市関連資料の購入・受託				上半期活動実績	-					
事業の目的	歴史資料を体系的・分類的に調査・整理・記録して郷土の歴史を正しく後世へ伝えるため。	成果	新史料の調査などを実施し、以前に目録だけであった資料を読解し史料集1冊を刊行し、内容が公開できた。				上半期成果	-					
事業の概要	1. 保有史・資料の整理及び解読作業 :江戸時代の近世文書を中心に行う。 2. 史・資料集の刊行 :整理・解読の終了した史・資料について、史・資料集を刊行する。 3. 未発見史・資料の調査及び記録 :記録は写真やデジタルデータ化も行う。 4. 市関連史・資料の入手 :古書店等からの購入も含む。	課題	史料集等は販売しており、その売上高を前年度比で5%上昇させる。				課題	-					
H28環境関連性	-	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	未達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H30年度当初積算根拠	-		
ISO 14001	-	有効性	中:適切な成果が得られている			有効性	-						
H29環境関連性	-	効率性	中:適切な費用対効果が得られている			効率性	-						
		総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-			H30年度の方向性	-	理由	-

事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
事業費(A)	3,437千円	3,252千円	3,708千円	0千円
国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
その他特財	123千円	116千円	220千円	0千円
一般財源	3,314千円	3,136千円	3,488千円	0千円
人件費(B)	1,911千円	1,885千円	1,572千円	
正職員	従事割合	0.25人	0.25人	0.20人
内訳	時間外勤務	20.00時間	20.00時間	40.00時間
	臨時職員等	有	有	有
事業コスト(A+B)	5,348千円	5,137千円	5,280千円	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	226,808千円	53,593千円	25,758千円	0千円
	総人件費	10,357千円	10,585千円	5,792千円	
	総事業コスト	237,165千円	64,178千円	31,550千円	

部等名	課等名	係等名
教育局	文化財課	調査係・活用係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	03	15	小田城跡に要する経費

事務事業名	01	小田城跡保存・活用事業			指標名	土地買収面積				指標種別	成果指標	指標の概要	史跡保全のための土地買収面積。				
戦略プラン	3	12	文化財保護の推進		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度			
実績	-	-	-	-	80%	100%	100%	870㎡	750㎡	-	-						
総合戦略	-	-	-	-	H28年度				H29年度				その他の指標	-			
個別計画	史跡小田城跡保存整備基本計画				改善目標	-				改善目標	-						
根拠法令等	文化財保護法				事業計画	土地買収は、史跡西端の宅地(約450㎡)と移転補償及びそれに伴う鑑定・測量を行う。復元整備事業終了に伴い「小田城跡歴史ひろば」として開園し(4月29日に開園行事開催)、維持管理活用を図る。案内標識を整備する。				事業計画	史跡内2箇所872.5㎡の公有化及びそれに伴う測量や鑑定などを、7月までに地権者交渉で合意し、8月以降に委託契約を順次締結し、工作物移転も含め年度末に土地の引き渡しを受ける。なお、復元整備工事終了に伴い、施設の維持管理業務は予算事業16-01文化財展示施設管理事業で、活用業務は予算事業18-02文化財展示講座等事業で実施する。						
事業分類	A 任意的事業				活動実績	史跡西端の宅地(約450㎡)の買収と補償、およびそれに伴う鑑定・測量を実施した。歴史ひろばとして開園し、4月29日には開園記念行事を実施した(来場者:約2000人)。案内標識設置工事を完了した。				上半期活動実績	-						
執行体制	一部委託				成果	小田城跡歴史ひろばの開園・工事の完了により、多くの来場者を集め、地元催事にも活用された。				上半期成果	-						
事業の目的	中世常陸の一大中心地だった、国指定史跡「小田城跡」を土地買収により保存し、歴史公園として活用できるよう復元整備するため。				課題	-				課題	-						
事業の概要	土地買収は、文化庁長官に現状変更を許可されない土地等で実施し、19年度までに史跡南半の市街化調整区域約11haがほぼ終了し、現在は北半の市街化区域で概ね毎年1筆を買収する。復元整備は、平成21～27年度に、史跡(約22ha)中心の本丸跡を主とする遺構整備ゾーン(約4.2ha)で実施し、合わせて展示機能を持つ案内所を建設する。				事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況		-	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況		-			
ISO 14001	H28 環境関連性	-			有効性	中:適切な成果が得られている				有効性	-						
	H29 環境関連性	-			効率性	中:適切な費用対効果が得られている				効率性	-						
	総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-										
													事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
													事業費(A)	222,300千円	49,995千円	18,664千円	0千円
													国庫支出金	115,817千円	28,277千円	14,583千円	0千円
													県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
													地方債	63,800千円	0千円	0千円	0千円
													その他特財	0千円	8,262千円	0千円	0千円
													一般財源	42,683千円	13,456千円	4,081千円	0千円
													人件費(B)	4,888千円	5,191千円	1,099千円	
													正職員	0.55人	0.60人	0.15人	
													従事割合	300.00時間	300.00時間	0.00時間	
													時間外勤務				
													臨時職員等	無	無	無	
													事業コスト(A+B)	227,188千円	55,186千円	19,763千円	
													H30年度当初積算根拠	-			
													H30年度の方向性	-	理由	-	



予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	226,808千円	53,593千円	25,758千円	0千円
	総人件費	10,357千円	10,585千円	5,792千円	
	総事業コスト	237,165千円	64,178千円	31,550千円	

部等名	課等名	係等名
教育局	文化財課	調査係・活用係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	03	15	小田城跡に要する経費

事務事業名	02 小田城跡保存整備委員会事業	指標名	会議の実施回数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	専門部会も含めた回数。				
戦略プラン	- - - -	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度							
			4回	4回	3回	3回	3回	3回	3回							
総合戦略	- - - -	実績	4回	4回	3回					その他の指標	-					
個別計画	史跡小田城跡保存整備基本計画	改善目標	H28年度				H29年度				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	
根拠法令等	-	事業計画	本委員会を1回、専門部会を2回開催する。また、本委員会専門部会員を中心に9月24日にシンポジウムを開催する。				事業の経過に伴い、本委員会を1回、専門部会を2回実施する。				内訳	事業費(A)	337千円	291千円	379千円	0千円
事業分類	C 義務的事業	活動実績	専門部会を2回、9月24日に専門委員を中心にシンポジウム「小田氏と小田城」を実施した。				上半期活動実績									
執行体制	職員のみ	成果	委員会を実施して、調査や整備に有効な助言を得ることができた。				上半期成果				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の目的	文化庁の指導により、「小田城跡」の保存・活用及び確認調査事業を、総合的・効果的に推進を進めるための指導組織が必要なため。	課題	整備事業が終了したため、今後の委員会のあり方について再検討する必要がある。				課題				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の概要	構成員は地元住民代表・市議会代表・専門研究者等で、公有化・発掘調査・復元整備・管理活用・その他必要な事項について協議する。また特に専門的事項は別に専門部会を置いて指導を受ける。										その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
											一般財源	337千円	291千円	379千円	0千円	
											人件費(B)	1,115千円	1,099千円	733千円		
											正職員	0.15人	0.15人	0.10人		
											従事割合	0.00時間	0.00時間	0.00時間		
											時間外勤務					
											臨時職員等	無	無	無		
											事業コスト(A+B)	1,452千円	1,390千円	1,112千円		
											H30年度当初積算根拠	-				
ISO 14001	H28環境関連性	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	-	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H30年度の方向性	-	理由	-			
	H29環境関連性	有効性	中：適切な成果が得られている			有効性	-									
		効率性	中：適切な費用対効果が得られている			効率性	-									
		総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-									

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	226,808千円	53,593千円	25,758千円	0千円
	総人件費	10,357千円	10,585千円	5,792千円	
	総事業コスト	237,165千円	64,178千円	31,550千円	

部等名	課等名	係等名
教育局	文化財課	調査係・活用係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	03	15	小田城跡に要する経費

事務事業名		03 小田城跡確認調査事業		指標名	累計調査面積				指標種別	成果指標	指標の概要	発掘調査面積の合計。		
戦略プラン	-	-	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度	
総合戦略	-	-	-	実績	3700㎡	4000㎡	4200㎡	4500㎡	4800㎡	-	-	その他の指標	現地説明会の参加人数。	
個別計画	史跡小田城跡保存整備基本計画			H28年度				H29年度						
根拠法令等	文化財保護法, 史跡小田城跡保存整備基本計画			改善目標	早期の調査開始と終了。				改善目標	市内遺跡発掘調査が近年増加傾向にあることから, 調査期間を調整するなど, 効率的かつ円滑な調査を実施する。				
事業分類	A 任意的事業			事業計画	10～2月に, 発掘調査を史跡西付近の曲輪 西側と周辺の堀跡を中心に約200㎡で実施し, 以前調査した出土木製品の保存処理も行う。また12月第1土曜日に現地説明会を開催する。				事業計画	平成29年度は本丸跡西側の曲輪 中部とその周辺を対象に, 約300㎡を調査を11～1月に実施するほか, 年度末までに曲輪Xの調査報告書作成, 出土品保存処理を行う。また12月第1土曜日に調査で得られた成果を公表する現地説明会を開催する。				
執行体制	職員のみ			活動実績	11月～1月に史跡西付近の曲輪 西側と周辺の堀跡を中心に228㎡で発掘調査を実施した。また12月3日に調査成果を発表する現地説明会を開催し, 214名の参加があった。				上半期活動実績	-				
事業の目的	買収した土地等, 「小田城跡」の地下状況を把握, 確認するため。			成果	調査地において, 遺構面の深さや数, 遺存状況, 顕著な遺構の有無を調べ, 保存・整備・活用の計画作成に必要な基礎資料を得ることができた。				上半期成果	-				
事業の概要	国指定史跡「小田城跡」本丸周辺部(遺構保全ゾーン)約71,000㎡のうち, 4,500㎡を目安に平成9～30年度(現地調査は29年度まで)で発掘調査を実施する。			課題	市内遺跡発掘調査が近年増加傾向にあることから, 調査期間を調整するなど, 効率的かつ円滑な調査計画の検討が課題である。				課題	-				
ISO 14001	H28 環境関連性	-	-	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H30年度当初積算根拠	-	
	H29 環境関連性	-	-	有効性	中: 適切な成果が得られている		有効性	-						
評価		総合評価		効率性	中: 適切な費用対効果が得られている		効率性	-		H30年度の方向性		-	理由	-
				総合評価	B: 成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価	-						

事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
事業費(A)	4,171千円	3,307千円	6,715千円	0千円
内訳				
国庫支出金	2,043千円	1,484千円	3,164千円	0千円
県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
一般財源	2,128千円	1,823千円	3,551千円	0千円
人件費(B)	4,354千円	4,295千円	3,960千円	
内訳				
正職員	従事割合	0.55人	0.55人	0.45人
時間外勤務	100.00時間	100.00時間	250.00時間	
臨時職員等	有	有	有	
事業コスト(A+B)	8,525千円	7,602千円	10,675千円	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	16,449千円	29,566千円	38,496千円	0千円
	総人件費	4,963千円	5,262千円	4,458千円	
	総事業コスト	21,412千円	34,828千円	42,954千円	

部等名	課等名	係等名
教育局	文化財課	活用係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	03	16	文化財展示施設管理に要する経費

事務事業名	01	文化財展示施設管理事業	指標名	収蔵資料利用件数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	収蔵資料の閲覧・写真撮影複写・掲載及び貸出等の利用件数			
戦略プラン	-	-	-	-	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度					
総合戦略	-	-	-	-	実績	30	32	41				その他の指標	-			
個別計画	-	-	-	-	H28年度				H29年度							
根拠法令等	つくば市文化財展示施設条例及び同条例施行規則				改善目標	老朽化が進む施設・設備の突発的な破損や劣化に対し、発生してから3か月以内に対応する。				改善目標	市公共マネジメント及び『文化財保護計画』と連動させながら計画的修繕を検討する。					
事業分類	F 施設等維持管理事業				事業計画	施設及び収蔵資料を適切かつ良好な状態に保つとともに、有効に活用して教育、研究に資する。				事業計画	・収蔵資料及び施設や設備を適切かつ良好な状態に保ち、不具合が生じた際は適宜修繕等を行う。 ・収蔵資料の貸出・閲覧等の利用、資料の写真掲載等の利用により、資料及び施設や設備を有効に活用して教育・研究に資する。					
執行体制	一部委託				活動実績	収蔵資料の貸出・閲覧等の利用、資料の写真掲載等の利用が41件あった。 老朽化が進む施設のうち、平沢官衙遺跡歴史ひろば案内所の外水栓及び、多目的トイレ扉の修繕、屋外の案内板等の修繕、桜歴史民俗資料館の排水管修繕、出土文化財管理センターの浄化槽修繕を行った。 なお、今年度4月に小田城跡歴史ひろばが開園し、管理対象施設に加わった。				上半期活動実績	-					
事業の目的	市内から出土した文化財、史料及び民俗資料を中心とした資料の収集・整理並びに復元整備した史跡の保存と展示を行う、つくば市文化財展示施設等（桜歴史民俗資料館、出土文化財管理センター、平沢官衙遺跡歴史ひろば、谷田部郷土資料館）の収蔵資料や施設の維持管理を目的とする。				成果	収蔵資料及び施設を適切かつ良好な状態に保つとともに資料貸出業務を通じて市外の方々につくば市の歴史と文化への知識と理解を深め、あわせて学術の発展に資することができた。長年かけて整備した小田城跡歴史ひろばと案内所を新たな市の財産として加えることになった。				上半期成果	-					
事業の概要	収蔵資料を適切に管理し、貸出等の利用手続きを申請に応じて適宜行う。 施設の維持管理のため諸法令に定められた業務、植栽や設備の維持管理、機械警備、収蔵資料の燻蒸処理等の業務を専門業者に委託して実施し、施設を常に適切かつ良好な状態に保つ。 桜歴史民俗資料館には、桜窓口センターが含まれる。				課題	老朽化が進む施設・設備の計画的修繕の検討。				課題	-					
ISO 14001	H28環境関連性	-	-	-	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H30年度当初積算根拠	-		
	H29環境関連性	-	-	-	評価	有効性	中：適切な成果が得られている	評価	有効性	-					H30年度の方向性	理由
					評価	効率性	中：適切な費用対効果が得られている	評価	効率性	-						
					総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価	-							

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	123,739千円	195,321千円	194,963千円	0千円
	総人件費	1,620千円	2,044千円	1,258千円	
	総事業コスト	125,359千円	197,365千円	196,221千円	

部等名	課等名	係等名
教育局	文化財課	保存係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	03	17	金田官衙遺跡に要する経費

事務事業名	01	金田官衙遺跡保存・活用事業			指標名	累計土地買収面積				指標種別	成果指標	指標の概要	買収対象面積約7.1haに対する当該年度までの累計面積。			
戦略プラン	3	12	文化財保護の推進		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度		
総合戦略	-	-	-	-	実績	2.0ha	2.4ha	3.1ha					その他の指標	-		
個別計画	-	-	-	-	H28年度				H29年度							
根拠法令等	文化財保護法				改善目標	取得面積が増え、議会で財産取得の議決を得る必要が生じるため、手続きの変更と増加に対処する必要がある。				改善目標	購入地の年次計画をURと調整する。					
事業分類	A 任意的事業				事業計画	小田城跡復元整備事業の終了を受けて、昨年度までの買収予定面積毎年4千㎡前後を、その1.5倍強の毎年6千5百㎡前後として実施する。				事業計画	史跡指定地のうち6,500㎡をURから購入するため、7月までに地権者交渉で合意し、8月以降に測量や鑑定の委託契約を順次締結し、12月議会で財産取得の議決を受けて年度末までに土地の引き渡しを受ける。					
執行体制	一部委託				活動実績	7筆、6,504.09㎡を買収し、平成22年度からの累計面積が3.09haとなった。				上半期活動実績	-					
事業の目的	中根・金田台特定土地区画整理事業内の歴史緑空間用地に含まれる国指定史跡「金田官衙遺跡」の土地を保存するため。				成果	土地買収により、文化財の保全が進むとともに、TX沿線開発が良好な形で円滑に進行するという効果も図れる。				上半期成果	-					
事業の概要	平成15年度に都市基盤整備公団、茨城県、つくば市の間で締結した「覚書」、及び同21年度にUR都市再生機構とつくば市の間で締結した覚書の内容を具体化する「協定」により、史跡内の公有地除く約7.1haを、国庫補助を受けて同機構から平成22～33年の12年計画で買収する。				課題	平成30年度予定の区画整理事業での本換地後の土地購入や管理が円滑に進める。				課題	-					
ISO 14001	H28環境関連性	-	-	-	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H30年度当初積算根拠	-		
	H29環境関連性	-	-	-	評価	有効性	中：適切な成果が得られている		評価	有効性	-					
					評価	効率性	中：適切な費用対効果が得られている		評価	効率性	-		H30年度の方向性	-	理由	-
					評価	総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		評価	総合評価	-					

事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
事業費(A)	123,739千円	195,321千円	194,963千円	0千円
国庫支出金	98,991千円	156,256千円	155,969千円	0千円
県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
地方債	0千円	29,200千円	29,200千円	0千円
その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
一般財源	24,748千円	9,865千円	9,794千円	0千円
人件費(B)	1,620千円	2,044千円	1,258千円	
正職員	従事割合	0.20人	0.25人	0.15人
内訳	時間外勤務	50.00時間	80.00時間	60.00時間
臨時職員等		無	無	無
事業コスト(A+B)	125,359千円	197,365千円	196,221千円	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	3,124千円	1,749千円	3,644千円	0千円
	総人件費	6,904千円	6,811千円	6,719千円	
	総事業コスト	10,028千円	8,560千円	10,363千円	

部等名	課等名	係等名
教育局	文化財課	保存係・活用係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	03	18	歴史文化教育・活用に要する経費

事務事業名	01	学校での伝統文化教育支援事業	指標名	講座・説明件数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	学校対象に行う出前講座や展示施設見学説明の件数。		
戦略プラン	3	12	文化財保護の推進	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	25件			25件	25件
総合戦略	-	-	-	-	H28年度				H29年度				その他の指標	学校教諭対象の説明研修会の開催(最低限1回)。	
個別計画	-	-	-	-	改善目標	子供向けのつくば市の歴史や文化財の市ホームページへの掲載。				改善目標	子供向けのつくば市の歴史や文化財の市ホームページへの掲載。				
根拠法令等	文化財保護法, 教育基本法, 市教育振興基本計画, つくばスタイル科カリキュラム			事業計画	出前講座・文化財施設見学説明。学校教諭対象の説明研修会の開催。つくば市の歴史や文化財を, 教育現場で活用しやすい形にまとめるとともに, 伝統文化教育を支援する各種教材を学校に提供。				事業計画	出前講座・文化財施設見学説明。夏期に学校教諭対象の説明研修会の開催。つくば市の歴史や文化財を, 教育現場で活用しやすい形にまとめるとともに, 伝統文化教育を支援する各種教材を学校に提供。					
事業分類	A 任意的事業			活動実績	市内外の小中学校へのお出前講座や展示施設での説明案内25回及び市内高校への講座2回を行った。学校教諭対象の説明研修会は1回開催した。パンフレット類は, 学校見学が多い平沢官衙遺跡の学校向けパンフレットを6,000部増刷した。				上半期活動実績	-					
執行体制	職員のみ			成果	歴史資料や文化財に触れる機会を提供・支援することで, 多くの児童・生徒達が, 郷土に関心と愛着を持つ機会を増やすことができた。				上半期成果	-					
事業の目的	「歴史・文化教育」は, 教育日本一を目指して始まった「つくばスタイル科」の7本柱の一つに挙げられ, また改正教育基本法等でも重視されていることから, 県内でも有数の内容を誇る市の歴史や文化財を, 学校教育の中で市内の子供達に伝えるため。			課題	子供向けのつくば市の歴史や文化財の市ホームページへの掲載。				課題	-					
事業の概要	出前講座・文化財施設見学説明。学校教諭対象の説明研修会の開催。つくば市の歴史や文化財を, 教育現場で活用しやすい形にまとめるとともに, 伝統文化教育を支援する各種教材を学校に提供。			事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	未達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H30年度当初積算根拠	-		
ISO 14001	H28環境関連性	-	-	有効性	中: 適切な成果が得られている			有効性	-						
	H29環境関連性	-	-	効率性	中: 適切な費用対効果が得られている			効率性	-			H30年度の方向性	-	理由	-
				総合評価	B: 成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-						

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	3,124千円	1,749千円	3,644千円	0千円
	総人件費	6,904千円	6,811千円	6,719千円	
	総事業コスト	10,028千円	8,560千円	10,363千円	

部等名	課等名	係等名
教育局	文化財課	保存係・活用係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	03	18	歴史文化教育・活用に要する経費

事務事業名	02	文化財展示講座等事業	指標名	企画展開催に伴う講演会等の回数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	企画展のテーマに沿った講演会や体験講座の開催回数。					
戦略プラン	3	12	文化財保護の推進	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度			2回	2回	2回	2回	2回
総合戦略	-	-	-	実績	2回	2回	2回											
個別計画	-	-	-	改善目標	H28年度				H29年度				その他の指標	文化財講座の実施回数。				
根拠法令等	文化財保護法, 市教育振興基本計画			事業計画	小田城跡歴史ひろば開園に伴う企画展やシンポジウム等の開催。 前・後期各8回の講座を開講 平沢官衙遺跡歴史ひろばで、春の復元建物開扉・夏のライトアップ・秋のつくば物語・冬の芝焼きと防火訓練を実施。				秋季を中心とする展示施設等での巡回企画展及びテーマに沿った講演会等の開催。 6～9月と12～3月に各8回古文書読解等の文化財講座の開講。 四季毎の平沢官衙遺跡歴史ひろば・小田城跡歴史ひろばにおける史跡活用催事の実施。				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	
事業分類	A 任意的事業			活動実績	小田城跡歴史ひろば開園に伴う企画展(1108人)・シンポジウム(215人)・バスツアー(48人)を開催。 前・後期各8回の講座を開講し、計47人が参加。 平沢官衙遺跡で、春の復元建物開扉(約1000人)・夏のライトアップ(約200人)・秋のつくば物語(約4000人)・冬の芝文字と防火訓練(約200人)を実施。				上半期活動実績				内訳	事業費(A)	2,970千円	1,593千円	3,444千円	0千円
執行体制	職員のみ			成果	各文化財展示施設におけるイベントや企画展・講座等の実施により、歴史や文化財に対する市民の関心や郷土愛を育むとともに、観光やシティプロモーション等の活性化に寄与することができた。				上半期成果				国庫支出金	1,015千円	0千円	1,023千円	0千円	
事業の目的	県内でも有数の内容を誇る市の歴史や文化財に対する市民の関心や郷土愛を育むとともに観光等へ活用することで市のプロモーションに寄与するため。			課題					課題				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の概要	展示施設や市庁舎を巡る巡回企画展を開催し、テーマに沿った講演会等を実施。 古文書読解等の文化財講座の実施。 平沢官衙遺跡歴史ひろばにおける史跡活用催事の開催。			事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況		事業の進捗状況		改善目標の進捗状況		地方債	0千円	0千円	0千円	0千円		
ISO 14001	H28環境関連性	-	-	評価	有効性	中:適切な成果が得られている		有効性	-		その他特財	169千円	136千円	145千円	0千円			
	H29環境関連性	-	-		効率性	中:適切な費用対効果が得られている		効率性	-		一般財源	1,786千円	1,457千円	2,276千円	0千円			
					総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価	-		人件費(B)	2,764千円	2,728千円	3,258千円				
											正職員	従事割合	0.30人	0.30人	0.30人			
											時間外勤務	200.00時間	200.00時間	400.00時間				
											臨時職員等	有	有	有				
											事業コスト(A+B)	5,734千円	4,321千円	6,702千円				
											H30年度当初積算根拠	-						
											H30年度の方向性	-	理由	-				